2010
Business Report

第9期ビジネスレポート

2009年4月1日 » 2010年3月31日

DRECOM®
with entertainment

株式会社ドリコム
http://www.drecom.co.jp/

社長インタビュー

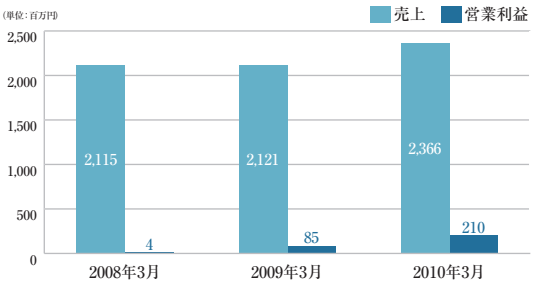
代　表　取　締　役　社　長
内　藤　裕　紀

今期の業績について教えてください

当社では、大きく分けて個人向けのエンタメコンテンツや広告サービスを提供するウェブサービス事業と、法人向けにブログ・SNSのシステム提供を行うビジネスソリューション事業の2軸で事業を展開しています。

2010年3月期はウェブサービス事業が順調に推移しました。中でも、きせかえコンテンツ（※携帯電話の待受画面やメニューを好みのデザインに一括で変えられるサービス）に関する事業が市場の成長と広告宣伝効果の高まりから、計画を上回る伸びとなりました。

また、ビジネスソリューション事業において法人向けブログパッケージ事業を2009年10月に発表の通り事業譲渡しておりますが、当該事業のマイナス分は他の事業の伸びに吸収されており、グループ全体としましては売上、利益共に順調に推移しています。



事業について現在の取り組みを教えてください

2009年4月から新規事業として体制を整え、取り組みを開始したソーシャルゲーム事業では、8月にmixiアプリ PC版の提供が始まり、続いて10月にモバイル版、この1月にモバゲータウンでの提供が始まりました。2月には課金収益が本格的に立ち上がり始め、ユーザーの伸びもモバゲータウン向けに提供している「ゲームスタジオ物語」が2ヵ月で100万人を突破するなど、事業全体として順調な立ち上がりとなっています。

当社では、この成長性の高いソーシャルゲーム事業を集客の柱として、安定的な収益基盤としてのモバイルコンテンツ事業、ソーシャルゲームのトラフィックをモバイルコンテンツに誘導する広告サービスを提供する広告事業と、3つの軸からなるポートフォリオを組み、経営資源の選択と集中を行っております。

今後の取り組みについてお聞かせください

国内のソーシャルゲームを取り巻く環境は、当社のゲームだけをみても開始半年で約500万人の登録者を集めており、想定よりも早いスピードで浸透している感触があります。さらには、mixiとモバゲータウンに続いて、GREEの参入や、DeNAとYahooが共同で取り組むというニュースも流れており、市場の拡大が一層進んでいくことが予想されます。こうした状況の中、当社では国内SNSならびにFacebook（※全世界で5億人が利用する世界最大のSNS）向けにソーシャルゲームを提供します。そして、ヒットゲームを提供するための投資を主に2011年3月期の上期に行ってまいります。

具体的には、体制強化として採用費、ユーザーを獲得するための広告宣伝費、そして多くのトラフィックに耐えるためのインフラの整備などが挙げられます。また、事業部門の拡大に伴い管理部門の強化として採用を進め、中期を見据えた組織作りのため新卒採用も開始しております。

国内はもとより、Facebookでは月間のアクティブユーザーが5億人を大きく超えるまで成長しており、その上で提供されるソーシャルゲームは1つのタイトルで数千万人が利用するゲームがいくつも登場しています。当社ではこのソーシャルゲームの潮流を最大限活かすため、既存事業との相乗効果を鑑みながら、更なる成長のために積極的な取り組みを進めてまいります。

2010年3月期の取り組み

事業の状況

ドリコムはインターネットにおけるコミュニケーションサービスを強みとして、下記の領域で事業を展開しています。

エンタメウェブ事業

コミュニケーションを楽しむことを目的とした
エンターテイメントサービスを個人向けに提供。
「ユーザー課金」と「広告収入」で収益化します。

ミュージックコンテンツ

投稿型メロディサイトの運営や着うたなどのコンテンツやその他、着メロ関連サービスの提供

グラフィックコンテンツ

きせかえコンテンツの企画提供や、
メールコンテンツの提供

ゲーム＆コミュニケーション

mixiなどSNS上で遊べるソーシャルゲームの提供

マーケティングソリューション事業

ユーザーのニーズに即したマーケティング効果の高い
インターネットソリューションを法人向けに提供。
「システム提供」と「広告収入」で収益化します。

アドソリューション

独自の行動ターゲティング広告技術サービスや、
mixiアプリ向けポイント広告サービスの提供

メディア

日本最大級の転職・求人情報サイトや、
中古車情報サイトなどの運営

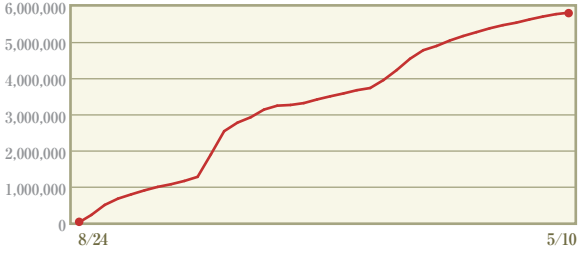
ウェブマーケティング

CMSサービスや社内向けブログのASP提供

※上記は決算短信等に記載の事業セグメントと一部異なります。

注力するソーシャルゲーム

ソーシャルゲームとはSNS上で提供されるゲームです。SNS内の友人関係を利用してゲームが進むことが特徴です。ドリコムでは2009年8月にmixiへのゲーム提供をスタートし、現在ではモバゲータウン向けのゲームを含めて500万人を超える登録者となっています。



当社では3つの取り組み指針に従いソーシャルゲームへの取り組みを進めてまいります。

❶ソーシャルゲームの提供会社としての取り組み

mixiおよびモバゲータウン向けにゲームを提供中。今後、世界最大のSNS Facebookなどにも向けて提供予定です。

❷ソーシャルゲーム関連サービスへの取り組み

ソーシャルゲーム向けの広告サービスを提供するなど、ゲーム提供以外でもサービスを展開していきます。

❸海外のSNSへ向けた取り組み

Facebookで上位のゲームを提供するCrowdStar社との協業を進める等、国外の展開にも注力していきます。

提供中のタイトル

ハッピーアクアリウム

好みの魚を飼い、アイテムで飾ってデコレーションを楽しめる水槽シミュレーションゲームです。
mixiアプリ PC版、モバイル版にて提供中です。

ゲームスタジオ物語

ゲーム会社の社長になってヒットゲームの開発を目指すシミュレーションゲームです。
モバゲータウン、mixiアプリ モバイル版にて提供中です。

営業の概況

概況

当社グループは、グループ運営の効率化等を目的として、連結子会社であった株式会社ジェイケンの吸収合併や、法人向けブログパッケージ事業の譲渡、既存事業との相乗効果を見込んだ新規事業としてソーシャルゲーム分野への注力等、事業の選択と集中を行ってまいりました。これにより携帯電話きせかえ事業が順調に推移したことや、投資段階ではありますがソーシャルゲーム事業が順調に立ち上げることができたことにより、売上高は前連結会計年度を上回ることができました。また利益面につきましても売上高の増加の他、吸収合併に伴う管理コストの圧縮や外注費などの開発コスト削減等を行ったことにより、前連結会計年度を大幅に上回ることができました。以上の結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高2,366,185千円（前年同期比11.5％増）、営業利益210,658千円（前年同期比146.7％増）、経常利益205,595千円（前年同期比236.2％増）、当期純利益101,903千円（前年同期は492,541千円の当期純損失）となりました。

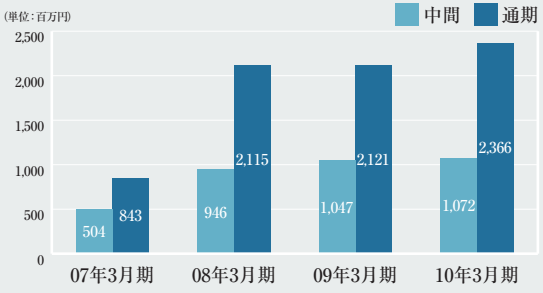
ビジネスソリューション事業

ビジネスソリューション事業では、法人向けブログパッケージ事業の譲渡により売上高が減少した結果、前連結会計年度の売上高を下回ることとなりましたが､利益面につきましては、事業譲渡による開発リソースの削減及び業務の効率化を徹底したことにより、営業損失ではありますが、前連結会計年度に比べ損失額を大幅に改善することができました。

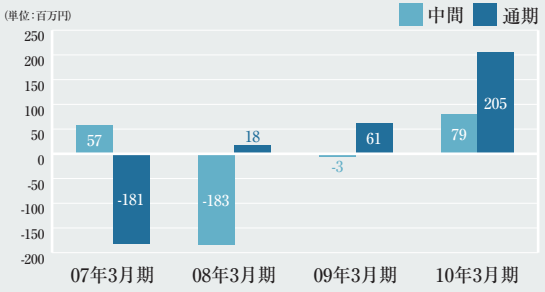
以上の結果、ビジネスソリューション事業の売上高は756,848千円（前年同期比16.4％減）、営業損失は16,606千円（前年同期は114,254千円の営業損失）となりました。

※ビジネスソリューション事業は本誌3ページにおける「ウェブマーケティング」等から構成されます。

売上高



経常利益



ウェブサービス事業

ウェブサービス事業では、携帯電話きせかえ事業が順調に推移いたしました。また、新規事業として注力しておりますソーシャルゲーム事業につきましても立ち上げが順調に進んだことから、前連結会計年度の売上高を大幅に上回ることができました。利益面につきましても、ソーシャルゲーム事業の先行投資に伴う開発費用や広告宣伝費等が増加いたしましたが、売上高が増加したことにより、営業利益も前連結会計年度に比べ増加することができました。

以上の結果、ウェブサービス事業の売上高は1,609,336千円（前年同期比32.3%増）、営業利益は227,264千円（前年同期比13.8%増）となりました。

※ウェブサービス事業は本誌3ページにおける「ミュージックコンテンツ」「グラフィックコンテンツ」「ゲーム&コミュニケーション」「アドソリューション」から構成されます。

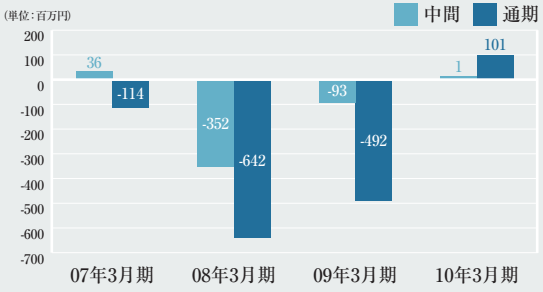
次期の見通し

次期の見通しにつきましては、平成22年度をソーシャルゲーム事業における次の投資段階と位置付け、積極的な投資活動を行うことから、開発運用体制の強化に伴う人件費及び採用費の増加、ユーザー獲得のための広告宣伝費の増加、設備の増強による賃借料やインフラ費用の増加を見込んでおります。

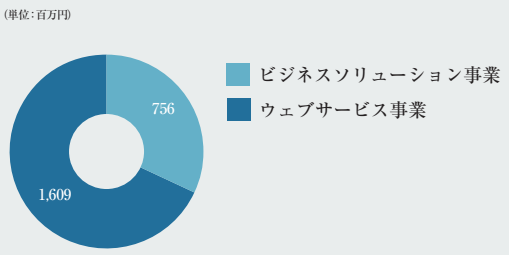
またソーシャルゲーム事業を伸張させるとともに、広告事業及びモバイルコンテンツ事業においても同事業と関連するサービス展開を強化することにより、相乗的に事業を伸ばしてまいります。

以上のことから連結売上高3,760百万円（前年同期比58.9%増）、連結経常利益280百万円（前年同期比36.2%増）、連結当期純利益200百万円（前年同期比96.3%増）を見込んでおります。

純利益



セグメント別売上高



連結財務諸表（要旨）

連結貸借対照表

（単位：千円）

科　目	第9期 2010年3月31日現在	第8期 2009年3月31日現在
（資産の部）		
流動資産		
現金及び預金	624,831	651,360
受取手形及び売掛金	536,542	449,242
商品及び製品	1,090	355
仕掛品	1,664	－
貯蔵品	732	2,054
繰延税金資産	15,926	19,149
前払費用	35,979	33,542
その他	11,005	13,444
貸倒引当金	△23,770	△17,779
流動資産合計	1,204,001	1,151,369
固定資産		
有形固定資産	53,931	45,041
無形固定資産	869,359	892,993
投資その他の資産	92,203	85,973
固定資産合計	1,015,495	1,024,009
資産合計	2,219,496	2,175,378

（単位：千円）

科　目	第9期 2010年3月31日現在	第8期 2009年3月31日現在
（負債の部）		
流動負債	599,059	561,952
固定負債	61,400	193,800
負債合計	660,459	755,752
（純資産の部）		
株主資本	1,411,936	1,301,361
資本金	1,042,502	1,038,166
資本剰余金	1,283,482	1,279,146
利益剰余金	△914,049	△1,015,952
新株予約権	12,006	7,918
少数株主持分	135,093	110,346
純資産合計	1,559,036	1,419,626
負債純資産合計	2,219,496	2,175,378

連結損益計算書

（単位：千円）

科　目	第9期 2009年4月1日～ 2010年3月31日	第8期 2008年4月1日～ 2009年3月31日
売上高	2,366,185	2,121,396
売上原価	645,081	664,099
売上総利益	1,721,103	1,457,296
販売費及び一般管理費	1,510,445	1,371,899
営業利益	210,658	85,397
営業外収益	2,057	2,417
営業外費用	7,121	26,654
経常利益	205,595	61,159
特別利益	27,507	153,521
特別損失	14,831	562,617
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失（△）	218,271	△347,935
法人税、住民税及び事業税	77,110	146,005
法人税等調整額	14,510	△4,819
法人税等合計	91,621	141,185
少数株主利益	24,746	3,420
当期純利益又は当期純損失（△）	101,903	△492,541

連結財政情報に関する定性情報

当連結会計年度末における財政状態は、総資産が前連結会計年度末と比較して44,117千円増加し、2,219,496千円となりました。これは、のれんの償却による減少等があったものの、主に売上増加に伴う売掛金の増加、新規事業の立上げに伴うソフトウエア及びソフトウエア仮勘定が増加したためであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して95,292千円減少し、660,459千円となりました。これは、主に借入金の返済により長期借入金が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して139,410千円増加し、1,559,036千円となりました。これは、主に当期純利益を計上したことに伴う利益剰余金の増加によるものであります。

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科　目	第9期 2009年4月1日～ 2010年3月31日	第8期 2008年4月1日～ 2009年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	230,968	31,135
投資活動によるキャッシュ・フロー	△133,768	39,190
財務活動によるキャッシュ・フロー	△123,727	△44,445
現金及び現金同等物の増減額	△26,528	25,880
現金及び現金同等物の期首残高	651,360	625,479
現金及び現金同等物の期末残高	624,831	651,360

2011年3月期の取り組み

事業の選択と集中

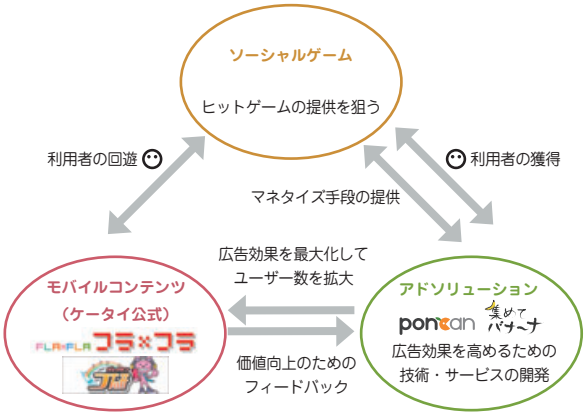
ドリコムは以下3つの領域に事業を集中してまいります。

ソーシャルゲーム
国内 SNS および世界最大の SNS である Facebook に向けてソーシャルゲームの提供を行ってまいります。

モバイルコンテンツ
既存コンテンツを強化し、広告出稿とソーシャルゲームとの連携で会員数を増やしてまいります。

アドソリューション
ソーシャルゲーム向けの広告商材の開発と提供を進め、自社での活用と、他社へ向けた提供を行ってまいります。

事業間の相乗効果を高めながら、集客力の高いソーシャルゲーム事業を中心として、モバイルコンテンツでの安定的な収益基盤を強化していきます。



ソーシャルゲームへの注力

ソーシャルゲームを取り巻く市場として、mixi、モバゲータウンでの提供が開始された他、GREEや、DeNAとヤフーによる「Yahoo！モバゲー（仮称）」の発表があるなど、国内のマーケットサイズが想定以上に拡大しています。一方、ゲームメーカー、マーケティング目的の企業等を含めて参入社数が増大し、mixiアプリだけでみても800近くの提供者が登場している状況があります。こうした中で、ソーシャルゲーム提供者としてトップのポジションをキープしていくために積極的に費用を投下して事業体制を強化してまいります。

◆ソーシャルゲームに関わる投資方針

採用費	・開発運用体制の強化 ・組織拡大に伴い管理部門の人員の採用も実施
労務費	・積極採用により人員増を見込む
広告宣伝費	・ユーザー獲得のための広告宣伝に投資
インフラ	・海外サーバーから国内自社サーバーへの運用切り替え ・トラフィックの増減に対して柔軟に対応するためレンタルで調達

◆Facebook向け第一弾ゲーム「GameStudioStory」

株主メモ

株式情報・会社概要

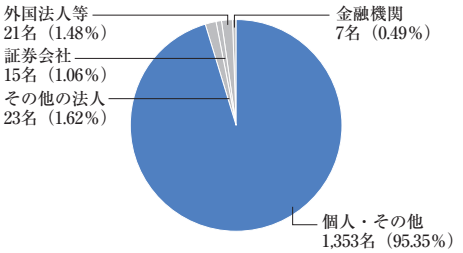
株式の状況（2010年3月31日現在）

発行可能株式総数	43,520株
発行済株式の総数	26,882株
株主数	1,419名

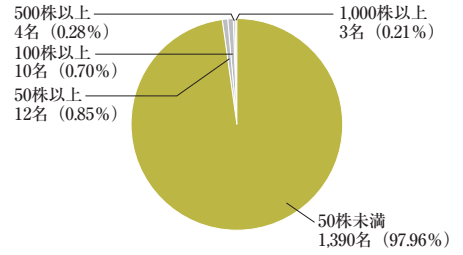
大株主（上位10名）（2010年3月31日現在）

株主名	当社への出資状況 持株数（株）	出資比率（%）
内藤裕紀	11,060	41.14
楽天株式会社	5,350	19.90
廣瀬敏正	1,108	4.12
井上陽平	992	3.69
小上勝造	897	3.34
安藤正樹	789	2.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	597	2.22
NECネクサソリューションズ株式会社	400	1.49
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	230	0.86
浅井一希	210	0.78

◆所有者別分布状況



◆所有数別分布状況



会社概要（2010年3月31日現在）

商号	株式会社ドリコム
本社所在地	〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1丁目31番18号 高田馬場センタービル3階
設立	2001年11月13日
資本金	1,042百万円
代表取締役社長	内藤裕紀
従業員数	連結149名 単体 84名
主な事業内容	・モバイル／PC向けのエンタメコンテンツの企画・提供 ・マーケティングソリューションの開発・提供

役員（2010年3月31日現在）

代表取締役社長	内藤	裕紀
取締役副社長	菅原	勇祐
取締役	川村	勇夫
取締役	島田	亨
監査役	南	敬三
監査役	杉本	一志
監査役	土師	弘幸
執行役員	廣瀬	敏正
執行役員	長谷川	敬起
執行役員	前田	充章

連結子会社（2010年3月31日現在）

・株式会社ドリコムマーケティング
・株式会社じげん
・株式会社ドリコムテック

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会　毎年3月31日 期末配当金　毎年3月31日 中間配当金　毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目５番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲二丁目３番１号
事務取扱場所	住友信託銀行株式会社　証券代行部
（郵便物送付先）	〒183−8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	0120-176-417
（インターネットホームページURL）	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

【特別口座について】
株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

公告の方法	当社のホームページに掲載する。 http://www.drecom.co.jp/ir/kessan/
上場証券取引所	東証マザーズ

ホームページ／IR情報のご案内

当社に関する最新動向や情報をお伝えしております。

http://www.drecom.co.jp/

株主さま向けアンケート

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記ＵＲＬにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

http://www.e-kabunushi.com
アクセスコード 3793

いいかぶ　検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を進呈させていただきます

e-株主リサーチ

※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。（株式会社エーツーメディアについての詳細 http://www.a2media.co.jp）※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」
TEL:03-5777-3900（平日 10:00〜17:30）
MAIL:info@e-kabunushi.com